

社会科同好会編⑩ 「民事裁判ジュニアツアー」

2025年9月10日(水)午前、文化祭の振替休日を利用して、生徒7名+社会科教員3名で、東京地方裁判所(霞ヶ関駅A1出口から徒歩1分／桜田門駅5番出口から徒歩3分)で実施している「民事裁判ジュニアツアー」に参加しました。案内役の裁判官の方から、民事裁判の仕組みや傍聴する事件について説明を受けたあと、実際の法廷に入り、証人尋問を傍聴しました。今回は、「レンタル彼氏」に関する訴訟でした。その後、説明用の法廷に移動し、生徒から質問タイム。ていねいにお答えいただきました。一部を紹介します。



Q1.「裁判にはどのくらい時間がかかりますか？」

A1.「1年、2年かかります。」

Q2.「最後まであやふやな点が残ったまま、判決するしかない場合、どうしているのですか？」

A2.「他の資料から推測します。周辺証拠から判断していきます。」

Q3.「最後に裁判官は何を聞いたのですか？」(今回は、契約を交わした部屋の最寄り駅について聞いていた)

A3.「判断に必要なことを聞いています。今回は契約について確認していたようです。」

Q4.「どうしたら詐欺に対して契約を解除できますか？」

A4.「クーリングオフの主張が認められることが必要です。」

Q5.「弁護士に向いているのはどんな人ですか？」

A5.「法律を世の中に当てはめる。自分の頭で考えて言語化する、アウトプットする力があるといいです。」

黒い法服を着て法定内で写真撮影もおこない、よい記念になりました。(インターネット掲載不可)

最後に、地裁の食堂でおそばなどを食べて解散しました。

以下、生徒の感想の一部を紹介します。

◆裁判所は初めていく場所だったのでとても新鮮でした。それでいてとても厳格な場所なんだと改めて知ることができました。法廷を初めて見て、雰囲気を感じられてとても有意義な体験でした。

◆裁判所での民事ツアーは2回目でした。傍聴した裁判は前回よりも印象に残るようなものでした。前回よりも自分ごととして考えることができたからです。裁判はその人の人生を大きく左右するものであって、弁護士一人の時にも話したけれど冤罪をなくすためにも裁判は砦になります。罪を犯したら正当に罰を受けなければいけません。罪なき人が冤罪で人生を変えられてしまわぬようになつたらいいなと思いました。ガイドをしてくれた裁判官の方が感想や質問一つ一つに分かりやすく説明しながら返答してくれたおかげでとても勉強になりました。

◆普段なかなか行くことができない場所に行くことができてとても嬉しかったです。ガイドがあり、聞きたいことや自分では気づくことができないことも教えてくれてためになりました。1回の裁判が1年以上かかることにとても驚きました。また傍聴や見学に行ってみたいです。

◆裁判の内容が分かったので面白かったです。実際に質問もできてよかったです。

◆実際に民事裁判を傍聴してみると、淡々とした口調であったもののそれがまた緊張感があつてとても勉強になりました。

◆民事裁判を傍聴できてよかったです。機会があればまたこのような行事に参加したいです。